

平成16年度事務事業評価表

担当	消防本部	消防署	内線等	99-1003
事業コード		事務事業名	災害活動事業	
根拠法令等	消防法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で暮らせる街づくり	消防法・救急

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市民に対して
手 段	災害活動を行うことによって
想定する成果	市民の生命財産を災害から守る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
災害活動件数	145件	195件	—
漏油処理	17件	20件	—
防潮扉の開閉	13件	24件	—
怪煙調査	3件	6件	—
風水害	0件	4件(内床下浸水1件)	—

④成果指標

成果指標名	①	②
平均災害活動出動車両台数	平均災害活動出動車両台数	平均災害活動所要時間
成果指標の説明	出動車両/災害活動件数	災害活動平均所要時間/出動件数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	1.3台	1.2台	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	53分24秒	54分22秒	—
事業費	事業費	4,630	4,946	5,104
	人件費	63,313	62,681	64,584
	(人数)	7.8人	7.8人	7.8人
	合計	67,943	67,627	69,688
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	67,943	67,627	69,688

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	要請があった災害活動に対し全て対応できた。
経済効率性	1	2	災害形態の規模は予測ができず、可能な限りの人員装備を必要とするが、限られた職員の応用（消防隊の救急支援等）により、増加する救急出動に対応している。
事務効率性	2	2	少ない活動人員で十分な活動をしている。
必要性	3	3	市に義務付けられている事業である。
小計	9 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	救急隊活動支援など災害活動に対し、消防隊の出動回数も増加傾向にあるが十分に対応できている。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

交通量の多い幹線道路で救急活動をする場合、危険が伴うため消防隊を出動させ救急隊を支援している。

⑧今後改善すべき点

平成17年8月7日から消防署西部出張所の消防車1台に出動時、AED（自動体外式除細動器）及び一次救命処置セット（人工呼吸器、三角巾等）を搭載した。また本署及び東部出張所の消防車両1台に一次救命セットを搭載したが、AEDは載していないので、今後、問題点がなければ搭載し、人命にかかわる災害に対応する態勢をとる必要がある。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載